

フライングディスク競技実施要領

日本障害者フライングディスク連盟競技規則に準じ、実行委員会申し合わせによる。

競技規則

第1条 競技種目

競技はアキュラシー競技の **ディスリート・ファイブ(5m)**、**ディスリートセブン(7m)** とディスタンス競技とする。

第2条 ディスタンス競技

1 競技フィールド

- (1) 競技場は、平坦かつ障害物のない地域でなければならない。
- (2) 1プレイヤーが競技する競技場をサイトという。サイトの設置は追い風を原則とする。
- (3) 1サイトは横20m以上、縦60m以上とする。
- (4) スローイングエリアはスローイングラインとエンドラインを結ぶ四角形(1.6m × 1.8m)の範囲内とする【図2】

2 用具

(1) ディスク

競技用ディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認の「ファストバックモデル」で直径23.5cm、重量100±5gとする。

(2) スローイングライン(足留材)【図1】

- ①材質：白色プラスチック製または木製とする。
- ②色：白色
- ③形状：長さ1.6m、巾6cm、高さ4cm
- ④止め方：完全固定

3 競技

(1) 競技種目

ディスタンス競技は、男女立位・座位の区分に分けて行う。

(2) 競技規則

- ①プレイヤーはスローイングエリア内でスローイングしなければならない。
- ②プレイヤーは試技の前に1回のテストスローイング(練習)をしなければならない。
テストスローイング用ディスクは競技用と同規格のもので色は黄色とする。
- ③プレイヤーは3回連続して試技を行う。
- ④投げられたディスクの有効範囲はスローイングラインの前方180°以内とする。

- ⑤距離計測は、スローイングライン中央の計測点から、ディスクが1番最初に地面に触れた点までとする。{図3}
- ⑥スローイングの方法は自由とする。
- ⑦競技上有利となる用具の使用は認めない。
- ⑧競技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分以後の試技は無効とする。
- ⑨座位で競技する場合、椅子等座るための用具の高さはクッションを含めて75cm以下とする。

(3) 記録

- ①記録は、3投中もっとも距離の遠い着地点を計測する。
- ②計測は1cm単位とし、メートルで記録する。mm単位切り捨てる。
- ③同記録の場合、上位3名の順位決定に当たっては、1回(投)の再スローイング(再投)によって決定し、その他の者については同順位とする。再スローイングの記録は公式記録としない。

(4) 反則

- ①プレーヤーがスローイングライン(足留材)の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
- ②車椅子の前輪または後輪がスローイングライン(足留材)の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。フットレストがスローイングライン上の空間に出ることは認められる。
- ③補装具は、身体の一部と見なし、スローイングライン(足留材)の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
- ④スローイング終了後もスローイングライン(足留材)の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。
- ⑤無効となったスローイングは1回(投)として数えるが、計測はしない。

第3条 アキュラシー競技

1 競技フィールド

- (1) 競技場は、平坦かつ障害物のない地域でなければならない。
- (2) 1プレーヤーが競技する競技場をサイトという。サイトの設置は追い風を原則とする。

2 用具

(1) ディスク

競技用ディスクは、日本障害者フライングディスク連盟公認の「ファストバックモデル」で、直径23.5cm。重量100±5gとする。

(2) アキュラシーゴール(標的)

- ①材質：鋼鉄製で円形部はオレンジ色焼き付け塗装仕上げとする。

②形状：直径（内径）91.5cmの円形で、パイプの径は2.5cm円形の下部は地面から0.61mの高さとする。

(3) スローイングライン（足留材）〔図1〕

①材質：プラスチック製または木製とする。

②色：白色

③形状：長さ160cm、巾6cm、高さ4cm

④止め方：完全固定

3 競技

(1) 競技種目

①区分：アキュラシー競技は、立位・座位及び障害や男女の区分はなく競技を行う。

②-1 デュスリート・ファイブは、スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を5mとする。〔図4〕

②-2 デュスリート・セブンは、スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を7mとする。

(2) 競技規則

①プレイヤーは10回連続して試技を行う。

②スローイングの方法は自由とする。

③競技上有利となる用具の使用は認めない。

④プレイヤーが視覚障害者の場合、競技役員がアキュラシーゴール後方3mの距離から音源でスローイング方向を知らせることができる。

⑤競技の時間は、プレイヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。5分以後の試技は無効とする。

(3) 得点

①得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴール（標的）を通過した回数とする。風などにより逆方向から通過した場合は得点とならない。

②得点と同じであった場合、10回（投）の通過過程において、第1得点を先に先取りした者が上位となる。第1得点と同じであれば第2、第3となる。得点及び通過も同じであった場合、上位3名の順位決定に当たっては、3回（投）の再スローイング（再投）によって決定し、その他の者については同順位とする。

(4) 反則

①プレイヤーがスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。

②車椅子の前輪または後輪がスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。フットレストがスローイングライン上の空間に出ることは認められる。

③補装具は、身体の一部と見なし、スローイングライン（足留材）の上部または

外側の地面に触れたときは無効とする。

④スローイングは終了後もスローイングライン（足留材）の上部または外側の地面に触れたときは無効とする。

⑤無効となったスローイングは1回（投）として数えるが、ディスクが通過しても得点とはならない。

競技上の注意

1 服装

運動しやすい服装とし、運動靴を使用すること。

2 ナンバーカード

ナンバーカードは、上半身（胸と腹の間）にしっかりと貼り付けること。

3 競技用具

ディスタンス競技、アキュラシー競技の競技用ディスクについては、主催者で用意する。

4 招集

選手の招集は次のとおりとする。

（1） 出場競技の受付時刻内に出場選手受付において、出場確認をすること。この出場確認は代理人が行ってもよい。

欠場する際は棄権届に記入し、プログラムの掲載間違いについてはプログラム訂正届に記入する。

（2） 選手の代替、当日参加は基本的に認めない。

（3） 各競技組の招集開始時刻は、原則として各組の競技開始10分前から。

（4） 選手はその組の競技開始時刻10分前までに各競技サイトの招集所に集合し、競技組毎に分かれて競技役員の最終点呼を受ける。

（5） 前項の最終点呼時に集合していない選手は欠場として扱う。

5 選手の入退場

選手の入退場は次のとおりとする。

（1） 選手の入退場は競技役員の誘導による。

（2） 競技が終了した選手は、表彰後、競技役員が解散所まで誘導する。

6 競技時間

プログラムの競技日程による。

7 表彰

組ごとにメダルを授与する。

8 その他

開始式 9時半（予定） 競技開始 10時20分（予定）

大会当日、不明な点は競技本部に問い合わせのこと。